

## 1. 本時の位置付け

本時は、中学校学習指導要領(平成29年告示)及び同解説【技術・家庭科】に記載されている以下の内容の一部と関連します。

|         |                              |  |
|---------|------------------------------|--|
| 展開<br>① | 【はじめてのお金の時間】<br>どうしてお金を貯めるの？ | 技術・家庭科【家庭分野】<br><br>C(1)ア<br>(ア) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。   |
| 展開<br>② | 資産運用方法を考える                   | <解説><br>・生活に必要な物資・サービスの購入や支払い場面を具体的に想定して学習を展開するよう配慮し、高等学校における長期的な経済計画や家計収支等についての学習につながるようにする。例えば、自分や家族が毎日生活するために消費している物資・サービスを具体的に挙げ、それらの必要性を考えて分類し、限られた収入をどのように使うのかをグループで話し合い、調整する活動などが考えられる。 |

また、金融リテラシー・マップとの関係では、「分類1 家計管理」、「分類2 生活設計」、「分類7 資産形成商品」の学習を含んでいます。

## 2. 本時の目標

- ・ 家庭で貯める方法と銀行に預ける方法のメリットとデメリットや目的に応じたお金の分け方を知る活動を通して、自身のライフプランに合わせた貯蓄方法や運用方法を選択する重要性を理解する。

## 3. 評価のポイント

- ・ 家庭で貯める方法と銀行に預ける方法のメリットとデメリットや目的に応じたお金の分け方を知る活動を通して、自身のライフプランに合わせた貯蓄方法や運用方法を選択する重要性を理解している。

## 4. 本時の流れ

本時は、J-FLEC 提供教材「はじめてのお金の時間」を活用して授業を展開します。

|           | テーマ                                | 学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)  | 指導上の留意点   |
|-----------|------------------------------------|--|---|
| 導入<br>10分 | お金を貯める目的を知る<br><br>【①どうしてお金を貯めるの?】 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お金を「貯める」のは、なぜだろう。</div><br><div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(問)なぜお金を貯める必要があると思いますか。</div><br>○お金を貯める理由を考え、発表する。<br>●生徒が発表した後に、「お金を貯める「目的」」に記載されているアンケート結果を提示する。<br>「老後の生活資金」…62.8%<br>「病気や不時の災害の備え」…47.2% | ・事前に、生徒のお小遣いの金額や貯蓄経験の有無等を調査し、実態をつかんでおくことよ<br>い。<br><br>・まとまった資金が必要な場合には、「教育」、「住宅購入」、「老後の資金」などがあることに触れる。 |

|            | テーマ                         | 学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)   | 指導上の留意点  |
|------------|-----------------------------|---|--|
| 展開①<br>15分 | お金を貯める方法とそれぞれのメリットとデメリットを知る | <p>お金を貯める方法(貯蓄方法)のメリットとデメリットを知ろう。</p> <p>●貯蓄方法には、「家庭で貯める」方法と「銀行に預ける」方法があることを知らせ、銀行に預けるためには「銀行口座」を開設する必要があることを説明する。<br/>         ≪銀行口座を開設するために必要なもの≫<br/>         ・本人確認書類<br/>         (マイナンバーカード、運転免許証、パスポートなど)<br/>         ※口座開設に印鑑が必要な金融機関もある。</p> <p>(問)家で貯める方法と預金する方法、それぞれのメリットとデメリットを考えてワークシートに当てはまる語句を書いてみましょう。</p> <p>○ワークシート1. に取り組む。</p> <p>●ワークシート1. の答え合わせをし、貯めたお金を「運用する(お金の働いてもらう)」よさを説明する。<br/>         ・流動性資金=いつでも使えるお金<br/>         例:普通預金<br/>         ・安定性資金=しっかり貯めるお金<br/>         例:定期預金、債券(個人向け国債)など<br/>         ・収益性資金=ゆっくり増やすお金<br/>         例:外貨預金、投資信託、株式など</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>銀行口座は中学生でも開設できることを理解できるようにする。</li> <li>口座開設の手続きを調べさせてもよい。</li> <li>ワークシート1. の記入が難しい場合、資料を見ながら埋めさせたり、教師の説明を聞いてまとめさせたりしてもよい。</li> <li>運用することによって、利息などを得ることができることを理解できるようにする。</li> <li>債券、外貨預金、投資信託、株式にはリスク[期待されたリターン(成果)の振れ幅]が伴うことを理解できるようにする。</li> </ul> |
| 展開②<br>20分 | 貯めたお金の効率的な増やし方について考える       | <p>貯めたお金を効率的に増やすにはどうするとよいだろう。</p> <p>●貯めたお金は、目的に応じて3つに分ける考え方があることを説明する。<br/>         ①いつでも使えるお金=流動性資金<br/>         例:普通預金<br/>         ②しっかり貯めるお金=安定性資金<br/>         例:定期預金、債券(個人向け国債)など<br/>         ③ゆっくり増やすお金=収益性資金<br/>         例:外貨預金、投資信託、株式など</p> <p>○教師の説明をワークシート2. にまとめる。<br/>         ●お金を運用(投資)する場合には、「リスクとリターン」があること、リスクを抑えるためには、「分散投資」、「長期運用」、「積立投資」をするとよいことを説明する。</p> <p>(問)ワークシート3. の場合、どのような貯め方、増やし方をするとよいか考えてみましょう。</p> <p>○ワークシート3. に取り組む。<br/>         ●ワークシート3. の考えをグループで交流する。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>普通預金と定期預金の違いとして、「金利」、「預金期間」、「引き出しの自由度」が異なることを説明する。</li> <li>外貨預金は為替レートの影響を受けるため、その分、リスクが高くなることを説明する。</li> </ul>   |
| まとめ<br>5分  | 学習のまとめ                      | <p>分かったことをまとめよう。</p> <p>○学習のまとめをワークシートに記入する。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>自身のライフプランに合わせた貯蓄方法や資産運用の重要性を理解している姿を価値づける。</li> </ul>   |

## 5. ワークシートの解答・解答例

ワークシート

お金の貯め方・増やし方を考えよう

|   |   |   |    |
|---|---|---|----|
| 年 | 組 | 番 | 名前 |
|---|---|---|----|

1. お金を貯める方法のそれぞれのメリットとデメリットを、資料を見ながら空欄を埋めてみよう。

| 方法               | メリット   | デメリット   |
|------------------|--|---|
| 家庭で貯める           | ・必要ときに現金が<br>( <b>すぐに</b> ) 使える。                                       | ・お金を使ってしまい( <b>やすい</b> )。<br>・お金を( <b>なくしてしまう</b> )可能性がある。<br>・どろぼうなどにお金を( <b>盗まれる</b> )可能性がある。<br>・貯めている以上に金額は<br>増え( <b>ない</b> )。 |
| 銀行などに預ける<br>(預金) | ・しっかり( <b>管理</b> )されているので、盗まれない。<br>・( <b>利息</b> )がつく。<br>※金利によって額は変わる | ・銀行や ATM に行かないと現金が手に入らない。<br>・お金の預け入れ、引き出しに<br>( <b>手数料</b> )がかかる場合がある。<br>・銀行が破たんした場合、一定額以上は、<br>( <b>保護されない</b> )可能性がある。          |

2. 貯めたお金の分け方

|                       |              |                     |
|-----------------------|--------------|---------------------|
| ①( <b>いつでも使える</b> )お金 | <b>流動性資金</b> | 例:普通預金              |
| ②( <b>しっかり貯める</b> )お金 | <b>安定性資金</b> | 例:定期預金、債券(個人向け国債)など |
| ③( <b>ゆっくり増やす</b> )お金 | <b>収益性資金</b> | 例:外貨預金、投資信託、株式など    |

3. 次のような場合にふさわしい「お金を貯める方法」や「貯めたお金の分け方」を考えましょう。

≪場合1≫  
 Aさん(22歳独身)の月給(1か月の収入)の手取りは23万円で、毎月の生活に20万円必要です。ただ、手元にお金があるとすぐに使ってしまいがちです。28歳までには、自動車(200万円程度)の購入をしたいと考えています。このとき、どのようにお金を貯めるとよいでしょうか。その理由も記入しましょう。

(例) 毎月、差額を預金する  
(理由)  
 給料が入った時点で毎月一定額を銀行に預けることで、手元にあるお金をすぐに使ってしまうことを防ぐことができる。  
 仮に、差額の3万円を全て毎月預金していった場合、  
 $3\text{万円} \times 12\text{か月} \times 6\text{年} = 216\text{万円}$  を貯めることができる。

≪場合2≫  
 Bさん(30歳独身)の月給の手取りは24万円で、毎月20万円で生活しています。友達の結婚のお祝いや自動車の修理代など急な支出が3~10万円必要になる月もあるので、すぐに必要なお金がある程度準備しておく必要があると考えています。また、40歳までに住宅が欲しいので、住宅ローンを利用したいと考えています。そのとき、これまで貯めた400万円を運用して、ローンの頭金にする場合、あなたは安全性や流動性をどのように組み合わせますか。

省略  
 ※流動性、安全性を考えて金融商品に分散されていることを評価する。

学習のふりかえり

## お金の貯め方・増やし方を考えよう

|       |    |
|-------|----|
| 年 組 番 | 名前 |
|-------|----|

1. お金を貯める方法のそれぞれのメリットとデメリットを、資料を見ながら空欄を埋めてみよう。

| 方法               | メリット   | デメリット   |
|------------------|--|---|
| 家庭で貯める           | ・必要なときに現金が<br>( )使える。                                  | ・お金を使ってしまい( )。<br>・お金を( )可能性がある。<br>・どろぼうなどにお金を( )<br>可能性がある。<br>・貯めている以上に金額は<br>増え( )。               |
| 銀行などに預ける<br>(預金) | ・しっかり( )されて<br>いるので、盗まれない。<br>・( )がつく。<br>※金利によって額は変わる | ・銀行や ATM に行かないと現金が手に<br>入らない。<br>・お金の預け入れ、引き出しに<br>( )がかかる場合がある。<br>・銀行が破たんした場合、一定額以上は、<br>( )可能性がある。 |

## 2. 貯めたお金の分け方

|        |              |    |
|--------|--------------|----|
| ①( )お金 | <b>流動性資金</b> | 例: |
| ②( )お金 | <b>安定性資金</b> | 例: |
| ③( )お金 | <b>収益性資金</b> | 例: |

3. 次のような場合にふさわしい「お金を貯める方法」や「貯めたお金の分け方」を考えましょう。

《場合1》

Aさん(22歳独身)の月給(1か月の収入)の手取りは23万円で、毎月の生活に20万円必要です。ただ、手元にお金があるとすぐに使ってしまうがちです。

28歳までには、自動車(200万円程度)の購入をしたいと考えています。

このとき、どのようにお金を貯めるとよいでしょうか。その理由も記入しましょう。

《場合2》

Bさん(30歳独身)の月給の手取りは24万円で、毎月20万円で生活しています。

友達の結婚のお祝いや自動車の修理代など急な支出が3~10万円必要になる月もあるので、すぐに必要なお金をある程度準備しておく必要があると考えています。

また、40歳までに住宅が欲しいので、住宅ローンを利用したいと考えています。そのとき、これまで貯めた400万円を運用してローンの頭金にする場合、あなたは、安全性や流動性をどのように組み合わせますか。

学習のふりかえり